

令和4年度活動報告

年 月 日	事 項
令和4年	
7月	
22日	インボイス制度研修会(Web配信)
27日	第1回正副理事長会(公嘱協会事務所) 令和3年度決算監査会(公嘱協会事務所)
8月	
1日	第1回理事会(web会議)
10日	中公連 理事長会議(web会議) 出席:門協理事長、常松副理事長、曾田副理事長
9月	
1日	第11回定時社員総会(くにびきメッセ601大会議室)
22日	中公連 第34回通常総会(広島県土地家屋調査士会館3階会議室) 出席:門協理事長、常松副理事長、曾田副理事長、山田副理事長
〃	中公連 全公連出前研修会(広島県土地家屋調査士会館4階会議室) 出席:門協理事長、常松副理事長、曾田副理事長、山田副理事長 南口監事、直江理事
10月	
26日	中公連 第2回理事長会議(web会議) 出席:門協理事長
11月	
2日	第2回正副理事長会(web会議)
28日	全公連 令和4年度地図作成実務研修会(web研修) 出席:門協理事長、山田副理事長
12月	
7日	第2回理事会(web会議)
15日	第1回業務部会(web会議)
16日	中公連 14条研修会及び意見交換会(広島県土地家屋調査士会館4階会議室) 出席:門協理事長、山田副理事長、金本理事 森山社員(松江)、小笹社員(松江)

令和4年度活動報告

年 月 日	事 項
令和5年	
1月	
2月	
9日	第3回正副理事長会(公嘱協会事務所)
〃	令和4年度中間監査会(公嘱協会事務所)
10日	島根県企業局訪問(島根県企業局会議室) 出席:門協理事長、常松副理事長、山田副理事長、曾田副理事長 企業局:上野次長、井上グループリーダー、都間主事
13日	全公連 令和4年度第2回研修会(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」・Web配信)
～	出席:会場 門協理事長 Web 常松副理事長、山田副理事長
14日	全公連 全国理事長会議(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」) 出席:門協理事長
13日	中公連 第3回理事長会議(ホテルメトロポリタンエドモント) 出席:門協理事長
22日	第3回理事会(web会議)
3月	
1日	第1回副理事長会(web会議)
6日	弁護士相談(弁護士法人井上晴夫法律事務所) 出席:常松副理事長 弁護士:廣戸孝幸
9日	島根公益法人スタッフ訪問(公益法人スタッフ会議室) 出席:常松副理事長 公益法人スタッフ:村川グループリーダー
〃	島根県企業局訪問(島根県企業局会議室) 出席:常松副理事長 企業局:井上グループリーダー、都間主事
13日	第2回副理事長会(web会議)
23日	第1回地区長会(web会議)
28日	第4回理事会(web会議)
4月	
24日	第3回副理事長会(web会議)
〃	第4回正副理事長会(web会議)

令和4年度活動報告

年 月 日	事 項
5月	
12 日	島根県企業局訪問(島根県企業局会議室) 出席:常松副理事長 企業局:総務課 渡部課長補佐、南波氏
16 日	島根公益法人係訪問(島根県総務部総務課情報公開室公益法人係談話室) 出席:常松副理事長 公益法人係:桑田敦也係長、今本憲成主任主事
19 日	第1回総務部経理部合同会議(web会議)
22 日	第5回正副理事長会(web会議)
6月	
1 日	全公連 第38回定時総会(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」) 出席:門協理事長
～	
2 日	全公連 第1回研修会(ホテルメトロポリタンエドモント「悠久」・Web配信) 出席:会場 門協理事長 Web 常松副理事長、山田副理事長、曾田副理事長
1 日	中公連 第4回理事長会議(ホテルメトロポリタンエドモント) 出席:門協理事長
8 日	第5回理事会(web会議)
21 日	山川公認会計士インボイス相談(公嘱協会事務所)
27 日	第6回正副理事長会(web会議)

令和4年度事業報告

自 令和4年 7月 1日
至 令和5年 6月30日

<総括>

令和4年度の売り上げは、1億4,790万円になり、前年比およそ90万円増となりました。

官公署宛の見積書の提出は、堅調に推移しており、当初予算を達成するために、引続き官公署に対しての働きかけを行なっております。

全国の流れとして、昨年、日本土地家屋調査士会連合会による調査士報酬に係る歩掛が改定されました。今まで20年来報酬規程の見直しがなされないまま運用されていた作業歩掛が、登記行政のデジタル化の推進によるオンライン申請等の登記手続が進む中で、実態に沿った報酬基準としての作業歩掛の提示となっており、公共嘱託登記手続においても官公署が運用する報酬額規定の見直しも検討すべきであるとの方向性を示しました。

また、民法の一部改正により相続登記の義務化、相続土地国庫帰属法の創設、所有者不明土地関連法、土地基本法の一部改正による土地所有者の責務の規定等、国民生活に直結する法改正や法整備がなされています。これらの国の施策は、土地家屋調査士業界にとっては大きな追い風になるとともに、チャンスを掴み取る時期にあるとしています。

地方においても、我々がこの資格をどのように有効に活用し、官公署にどのように働きかけるかを我々自らの意思を明確に示す時期が来ていると感じています。

そのためには、筆界論に基づいた境界についての考え方を徹底し、明確な意思表示をするべき時期がまさに今であると考えます。

また、他協会が先行して行っている例えばGISを使った地図管理システム、狭隘道路解消のための事業など積極的に提案していく考えです。

コロナウイルスが支配したここ数年は、人類の知恵と英知により、乗り越えることになりました。私たち土地家屋調査士も変化を恐れず、かたや法に寄り添い、知恵と英知により、自らの立場を確立し、前進しなければなりません。

総務部

① 協会の現状に即した諸規則

・諸規定の改廃

1. 慶弔規程の一部改訂
2. 特定資産取得・改良資金規程の廃止（事務所取得の目的を達成したため）
3. 旅費日当支払規程の一部改訂
4. 地区運営細則別表の一部改訂

- ② ホームページの保守管理及び活用
 - ・社員への情報提供をホームページで一元化する
 - ・協会の運営への理解を図るため、理事会報告の発信いずれも実施中
- ③ インターネットを用いた情報管理及び利活用の研究
 - ・クラウド等を用いた協会内部ファイルのバックアップ体制の確立
 - 会計 Data はクラウドにバックアップ済み
 - 他 Data は来年度予算化をしており実施予定
- ④ インボイス制度実施に伴う社員への対応方法の検討
 - ・R4. 07/12 山川公認会計士によるインボイス研修会を web にて開催
 - ・R4. 12/07 社員に対してインボイスアンケートの実施
 - ・R5. 05/01 社員に対してインボイス登録意向調査
 - ・その他、政府税制調査会の提言などインボイスをめぐる情報収集
- ⑤ 組織改編の研究
 - ・協会役員及び地区長の員数が合理的に組織運営に供しているかを検討する
 - ・現行の理事の員数は9名以上15名以内（公益社団法人発足時に決定）
 - 社員減少に伴い、理事の員数の変更について検討が急がれる
- ⑥ 各部の事業に協働し、協会業務の円滑な推進を図る
 - ・実施中

業務部

- ① 官公署からの受注促進
 - ・地区単位で地区長から研修会の案内と伴に受注促進を行った
 - 県その他については、業務部にて訪問した
 - ・見積り依頼、業務打合せの折には、単価契約の依頼を行った
 - ・業務遅滞に関する協議を行い、業務改善に努めている
- ② 地図作成の推進
 - ・地図作成事業（新雑賀ほか地区）の2年目（立会、一筆地測量）作業中

経理部

- ① 公益法人の法令、公益法人会計基準を遵守し公認会計士の指導のもと、会計処理を行った。
- ② 剰余金について、公益目的事業推進準備資金に繰り入れた。
- ③ インボイス制度に向け公認会計士に指導頂いた。制度開始に向け総務部と協議を行っている。

令和4年度会議状況

定 時 社 員 総 会	1
理 事 会	5
正 副 理 事 長 会	6
副 理 事 長 会	3
監 査 会	2
地 区 長 会	1
業 務 部 会	1
合 同 部 会 (総 務 ・ 経 理)	1
インボイス制度 相談会・研修会	2
全 公 連 定 時 総 会	1
全 公 連 全 国 理 事 長 会 議	1
全 公 連 研 修 会	2
全 公 連 地 図 作 成 実 務 研 修 会	1
中 公 連 通 常 総 会	1
中 公 連 理 事 長 会 議	4
中 公 連 研 修 会	2
島 根 県 企 業 局 訪 問 (業 務 遅 滞)	3
島 根 県 公 益 ス タ ッ プ 訪 問 (業 務 遅 滞)	2
弁 護 士 相 談 (業 務 遅 滞)	1